

誰もが希望を持てる社会を実現！
安心・安全に働ける環境整備と「底上げ」「底支え」「格差是正」で！

2021春季生活闘争ニュース



2021.3.9 第5号 発行責任者 連合北海道組織労働局

—2021春季生活闘争・2区補選・総選挙勝利！— 全道集会をweb開催し、ヤマ場に向けて意志結集！

連合北海道は3月8日、「2021春季生活闘争・衆議院北海道2区補選・第49回衆議院選挙勝利!!3.8全道総決起集会」を開催(石狩地協・札幌地区連合共催)し、2021春季生活闘争のヤマ場(3月15日～19日)と4月13日告示の2区補選、10月までに実施される第49回衆議院選挙勝利に向けて意志結集を図った。全道各地で400人を超える組合員が視聴参加した。

■主催者代表挨拶

連合北海道2021春季生活闘争本部の杉山元本部長(連合北海道会長)は、この20年間で格差拡大、平均賃金が下がり続けているとして、2021春季生活闘争では「この危機を乗り越える営みを労使が率先して取り組むことが必要」と述べ、「感染症対策と経済の自律的成長の両立、社会の持続性の実現に向けて賃上げの流れを継続させ、格差の是正、底上げ・底支えとサプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配、働き方改革の推進に取り組もう」と呼びかけた。

また、選挙に関しては、「多くの国民がコロナで疲弊している中、自助を強調する菅政権に国民の命と日本の政治を任せるわけにはいかない」と指摘し、「働く者・生活者の命と暮らしを守る政治の実現に向け、推薦候補者全員の勝利をめざして取り組む」と決意を述べると共に、2区の補欠選挙は前哨戦になるとして、各組織の取り組みを要請した。



■方針提起



春季生活闘争のヤマ場を向かえるにあたって藤盛事務局長が情勢や闘い方等、連合北海道の方針を提起した。藤盛事務局長は「2021春闘は総合生活改善闘争と位置づけ、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合として社会・経済の構造的な問題解決をはかるけん引役を果たす闘いとしなければならない」と強調。経済団体等への要請をはじめ北海道の取り組み経過と共に、連合本部が集約している交渉状況などについてふれ、「コロナ禍の影響が業種・業態により大きく異なるため、例年以上に交渉状況にも巾が見られる。業績が厳しい企業においては、経営側は極めて厳しい姿勢を示している」と、これまでの交渉状況について報告した。北海道においても今後、15日から先行組合の第一のヤマ場、22日からは第2先行組合のヤマ場、続いて中堅・中小の集中回答ゾーン、4月の解決促進ゾーンと続くが、「連合北海道としても最後まで構成組織・地域が一丸となって闘いを進める」と決意を述べると共に、「2区補選、第49回衆議院選挙での推薦候補完勝をめざしてがんばろう」と組合員の総結集を強く訴えた。

続いて2区補欠選挙に立候補を予定している連合推薦の松木けんこうさんから決意表明を受け、荒木副事務局長が集会アピールを読み上げ、春闘・補選・総選挙勝利に向けて粘り強く闘い抜こうと決意を固め合った。



○補選に向け決意を述べる松木けんこうさん



働く皆さんのため頑張りたい。「ゼロコロナ」を実現するために、思い切った財政措置で押さえ込むことが必要。働く皆さんに支えていただき、しっかりと闘い抜きたい。